



週刊宮原たけし

府議会議員

発行…2018(平成30)年
4月19日 T.No.2
高槻市桃園町5-4 新川ビル2階
電話072-675-5290
法律相談も行っています。(要予約)

日本共産党

三島救命救急センターの 病床と体制の充実を

救命救急センターは耐震化ができていないため、大阪府、高槻市、島本町など3市1町、医師会などで意見交換会を行い、大阪医科大学に移転し運営も任せる方向と報告がありました。
現在は、公益財団法人として運営されていますが、民間の病院に運営をまかせて、三次救命の機能が充実できるのか、心配です。

昨年**は304人**ことわっています —大阪府の責任が重大です—

私は、府議会で「三島は患者をことわらない」ことを原則にしてきたが、昨年は304人ことわってる。その理由は、「満床」「対応できる医師がない」などであり、三次救急に責任をもつ府として、集中治療室の増床、医師、看護師の体制を拡充することが必要だと求めました。

大阪府は、「医療機能が充実することを期待している」と人ごとのような答弁でした。
また、高槻市では日本共産党の市会議員の質問に、「移転するまでの間及び移転後の医療体制が、さらに充実したものになるよう、市としてもがんばる」と前向きに答えました。

三島救命救急センターへの補助
2016年度の決算から

国	約5360万円
大阪府	約1億円
高槻市	約2億9740万円
茨木市	約1億円
摂津市	約2910万円
島本町	約2340万円

三島救命救急センターとは
高槻、島本を中心に一般病院で治療が難しい脳卒中や心筋梗塞などのすぐ命にかかわる方へ、高度な治療を専門に行なう三次救命施設として1985年11月に開設しました。

市田 忠義 副委員長 **演説会** 日時：**4月28日朝10時**
たつみコータロー 参院議員 場所：**現代劇場中ホール**

ロケット弾着弾、銃撃戦、自衛隊車両内の爆発 イラク南スーダンとも自衛隊の行ったところは戦場

—イラクの日報、部分公開でも明らかに—

アメリカが始めたイラク侵略戦争に、2004年から06年にかけて陸上自衛隊が派兵されていました。当初無いとされていた日報が存在し、発見から1年以上も隠されていました。

防衛省が16日発表した「日報」では「戦車や迫撃砲を使用した激しい戦闘」が起きていることが生々しく記載され、「戦闘」という言葉が数多く出てます。それを「衝突」だにごまかしてきたことが明らかになりました。

「非戦闘地域」で活動する名目で派兵された自衛隊を、実際は戦闘地域に送ったことと、憲法9条違反を隠すのが「日報問題」の本質です。

しかも、治安悪化の時期2004年の日報は大半が欠けています。

イラク派兵と日報をめぐる経緯

- 2003年3月
イラク戦争開戦
- 2004年1月
陸自がサマワに部隊派兵
- 2006年7月
陸自がサマワから撤収
- 2017年2月
国会で稲田防衛相「日報が「存在しないことを確認」と答弁
- 2017年3月
陸自研究本部で日報保管を確認
- この間 国会で追及するも「廃棄」と答弁
- 2018年1月
陸自研究本部が陸幕総務課に保管の事実を報告
- 2018年4月
防衛省がイラク日報の一部を公表

「安保法制」は廃止 自衛隊は専守防衛に

今回の「日報」問題は、強大な軍事力を持つ自衛隊が重要な情報を隠し、国会や国民を欺いてきたことです。それを見逃してきた歴代の自・公政権に最大の責任があります。

安保法制＝戦争法では「駆けつけ警護」など新任務が付与され、南スーダンのように、海外で「殺し殺される」違憲の武力行使に至る危険が高まりました。

自衛隊は専守防衛に徹し、日本とアジアの平和に憲法9条を生かすことが大切です。



憲法9条に3項を付け加える「改憲」反対

週刊

府議会議員

宮原たけし

日本共産党